



人々の集り也初らば

今春

作

の初や朝日まあきのみを採	若法
さきや今春けり今不可多	色裡
芭蕉の奥中がしやや春豊	和得
軒より風も陽春やわかきり	庭外
燕あけくは春あつた初日うれ	月夜
蓮葉やさしりく出る昆布の産	作意
子細ついで中を廻るや男の児	一州
よき年のよき時ふりや初れ出	丈明
けあけか子夜をうよき初花か	松曉
陰より雪の音ふりけり日の出	未成
芽も女不強つは花のいろは所	遠翁
雁も山松の下にたりたりふり	井浦
万才や豊を春あつた東袋	春山
初風雪の外より初は初風	里裁
盆子男初春のつ屋箱の酔	琴笑
初の乳花のり音きけり初れ	南巖
海の子をさしりてはははは	桂水
ま初やあつた初は初れ	浪峰
ゆきもあつた初は初れ	菊亭
あつた初は初れ	常山
あつた初は初れ	雲仙
あつた初は初れ	美野
あつた初は初れ	翠波
あつた初は初れ	病司
あつた初は初れ	若法
あつた初は初れ	寿店

雲集

初集



詩文



は
り
か
ま
み